

地域おこし協力隊紹介

～私と活動と、時々、暮し～

都市部から地方への移住を促進する国の制度「地域おこし協力隊」。個性溢れる隊員自らが活動を紹介しますシリーズ！

《問合せ》地域づくり課 ☎21-9096

vol.35

伝統技術「豊岡杞柳細工」の継承

谷田川 由紀

和太鼓から現在まで、長年活動している。結婚、出産を経て、自給自足を目標として、但馬県に引っ越す。奈良太鼓を始めて13年。フリーで演奏している。結婚、出産を経て、自給自足を目標として、但馬県に引っ越す。



思い返せば

私の現在の暮らしは「はじまりへの旅」という映画に背中を押されたことから始まりました。人里離れた森の奥で自給自足で暮らすベン一家が街へ繰り出すという物語です。これまで和太鼓の特殊な世界でしか生きてこなかった私が、結婚と出産を経て生活が一変し、社会になじもうとすればするほどどこか違和感のある生活がベン一家と重なり、太鼓一筋の人生が、言うなれば社会的な森の中であったのだと感じました。足るを知り、自らの選択によってこれから

長野での発見

移住した場所は山の中にある少人数の集落で、既に自給自足でほぼ完結している家もある地域でした。そんな環境で自給自足の厳しさを感じながらも、狩猟や養鶏、養蜂、畑などを経験し自分たちの追い求めるものの素晴らしさ、面白さも発見できました。地域おこし協力隊として豊岡杞柳細工を始めるきっかけになったのは、集落に暮らす

杞柳細工との出会い

職人が作った竹細工や木工品との出会いでした。自然の材料から作られた細工に、生活用品としての美しさや素晴らしさを感じて、豊岡杞柳細工の存在を知り、まさに豊岡杞柳細工は私の理想だと感じました。

この場所で生きるということ

「たくみ芸」で修行を始めて1年ほどですが、ものづくりに没頭できる日々から感謝しています。杞柳細工を作るのが楽しくて、協力隊卒業後も師匠に教えていただきながら作り続けていきたいです。暮らしの中にもものづくりにあることが、自分の精神的な豊かさにつながると確信しています。

私たちの旅は、まだ始まったばかり。長野でも豊岡でも人に恵まれていると感じています。自分のできることが伝統の継承と地域貢献につながれば、これほどうれしいことはないと思います。



飯行李で食べるおにぎりは格別



第20回
長く使うのはかっこいい？ 悪い？

季節も変わり、新しい年度、入学や進学のと時期に合わせて新しい衣服や物を持ちたくなるものです。

昨年、使い続けて丸くて小さくなった消しゴムやキャップをつけた短い鉛筆を小学生に見てもらい「最後まで使いたいのは、かっこいいか？ かっこ悪いのか？」という質問をしました。反応は後者でした。

物にあふれる社会やごみのことを伝えた後でしたが、目や耳から情報が入るだけで、人の心や行動の変化につながるのには難しいと実感しました。

国土交通省の資料によると、日本の住宅の平均利用年数は30年ですが、アメリカは55年、イギリスは77年で、比較すると大きな差があることが分かります。新築住宅が好きな日本人の多くは、間取りやデザインの新しくて気持ちがいいという理由で支持されています。

地球温暖化を防止するため、身近な環境問題と家庭でできるエコ活動を紹介します。

《問合せ》コウノトリ共生課
脱炭素推進室
☎21-9136

そんな「新品」を好む日本でも、今や世界に進出するフリーマーケットのアプリが作られ、商品を買取取るリユースショップも増え、リフォーム物件も出回り始めました。「中古」に対して「他人が使ったもの」とネガティブなイメージを持つ文化が、若者を中心になくなってきたように感じ、うれしく思います。

丸くて小さくなった消しゴムや、キャップをつけた短い鉛筆、穴の空いたところをパッチワークで直した衣服、また、それを使い続ける人、直してくれる人を「かっこいい」「素敵」と言えて、応援できる社会になるといいですね。

(NPO法人暮らしのエコをすすめる但馬の会)



省住
持ち手
引き
国土交通省
「長」宅

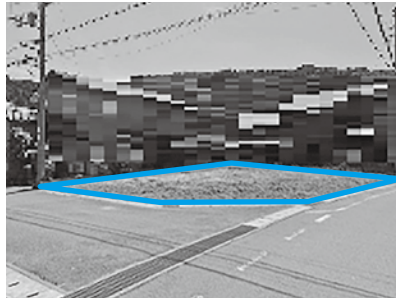
インターネット公売 不動産公売の ご案内

- ▶ 申込期間 5月31日(金)午後1時～6月17日(月)午後11時
- ▶ 入札期間 6月24日(月)午後1時～7月1日(月)午後1時
- ▶ 代金納期限 7月22日(月)午後2時30分
- ▶ 申込方法 KSI官公庁オークションの豊岡市公売からの参加となります。サイト(<https://kankocho.jp/gov/6066154001/?p=au>)または二次元コードにアクセスしてください。※5月31日以降公開



番号 不1-01	豊岡市竹野町轟字森脇128番7	見積価額(最低入札価格)	公売保証金
		1,040,000円	110,000円

- ▶ 土地
 - ▷ 地目 宅地
 - ▷ 地積 209.08㎡
- ▶ 説明事項
 - ▷ 上水道は引込み済
 - ▷ 下水道は引込みされていません



◇公売に参加する場合は、必ず事前に問合せください。
 ◇豊岡市のホームページで「豊岡市インターネット公売ガイドライン」を必ず確認してください。
 ◇写真の境界線は大まかな位置を示したものです。隣地との境界確定、使用者・占有者に対する明渡請求、落札物件内の動産(残置物)の処分等については、落札者が行ってください。市は関知しません。
 ◇市は公売財産については、記載の内容と現況に適合しない部分があっても担保責任を負いません。
 ◇公売財産は豊岡市の所有財産ではないため、勝手に立ち入ることはできません。
 《問合せ》 税務課 ☎23-1118(公売担当直通 平日午前9時～午後5時)



とよおか
生きもの歳時記
コウノトリの産卵・孵化
四月

皆さんに豊岡の自然を身近に感じてもらうため、豊岡らしい季節のこトバを紹介します。

コウノトリの子育てがはじまる季節となりました。

コウノトリのつがい
コウノトリは、気の合ったオスとメスがいったんつがい(ペア)になると、毎年同じ相手と同じ巣で子育てを繰り返す、とても夫婦仲の良い鳥です。2023年の繁殖期には、市内の16ペア(人工巣塔16基で営巣)のうち14ペアが合計37羽のヒナを巣立たせました。巣立ち個体数は1羽から最大4羽で、平均すると1ペア当たり2.6羽でした。

子育ての準備

コウノトリの繁殖期は年明けの1月ごろから始まります。いきなり産卵するのではなく、2カ月くらいの準備期間が必要です。夫婦で一緒に行動する時間が増え、前年使った巣

の補修作業を共同で行いながら、これから始まる子育てのための気持ちを高めていきます。夫婦そろって巣の上でねぐら入りすることが多くなり、やがて産卵の時期を迎えます。

産卵と孵化

早いペアで2月の後半に産卵し、多くのペアは3月に一斉に産卵します。抱卵はオスメス交代で行い、ときどき立ち上がってくちばしで卵を転がす「転卵」という行動を繰り返します。1カ月後、大人の握りこぶし大のヒナが孵化し、日ごとに大きくなるヒナのために、夫婦は交代でせっせと2カ月間、途切れることなくたくさんの餌を運び続けます。



▲転卵の様子

(写真・文 NPO法人コウノトリ市民研究所 高橋 信)